

ベースロード市場について

2025年10月29日

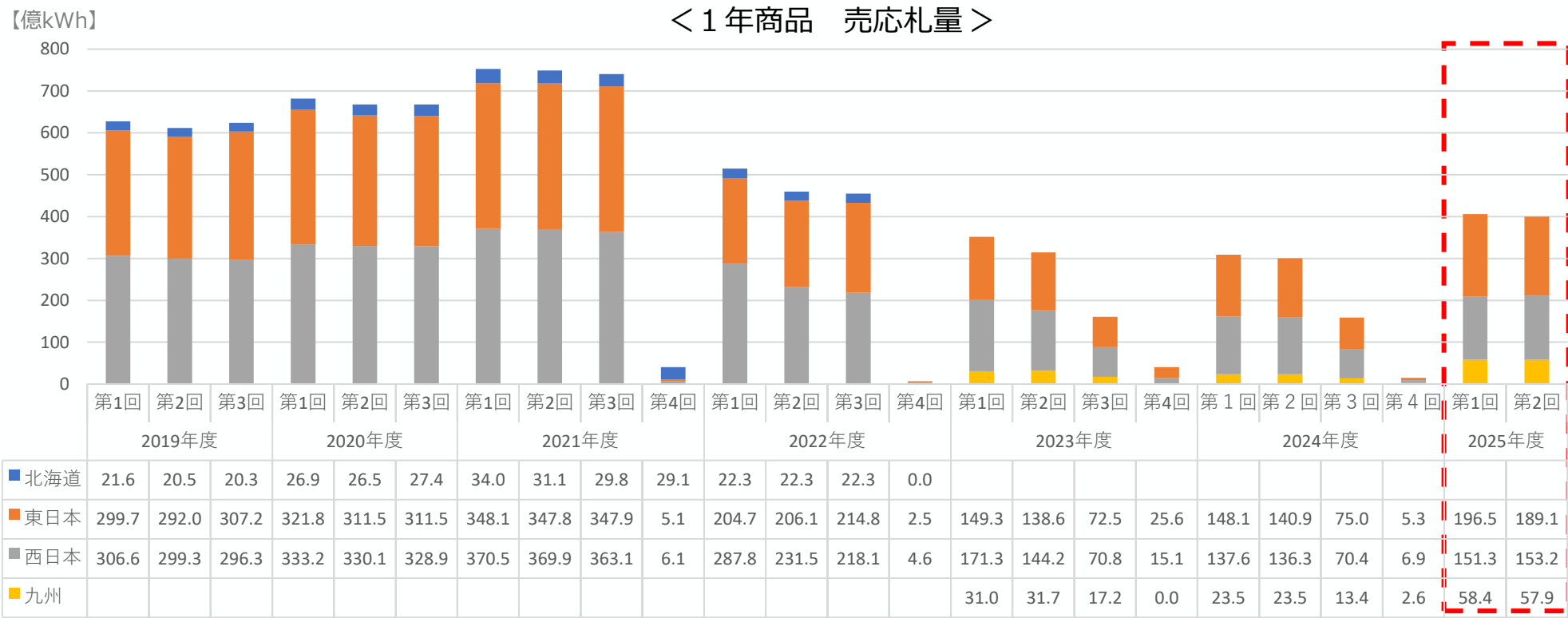
資源エネルギー庁

はじめに

- 第105回制度検討作業部会（2025年6月25日）では、第二十二次中間取りまとめ（案）について取扱い、非効率石炭火力のフェードアウトに向けた誘導措置に基づく控除の考え方を明らかなとした「ベースロード市場ガイドライン（案）」について議論を行った。
- 今回は、2025年8月29日に2025年度第1回オークション、10月17日に第2回オークションが行われたことから、その結果を御報告させていただきたい。

2025年度第1回、第2回オークションの売応札量（1年商品・固定価格取引）

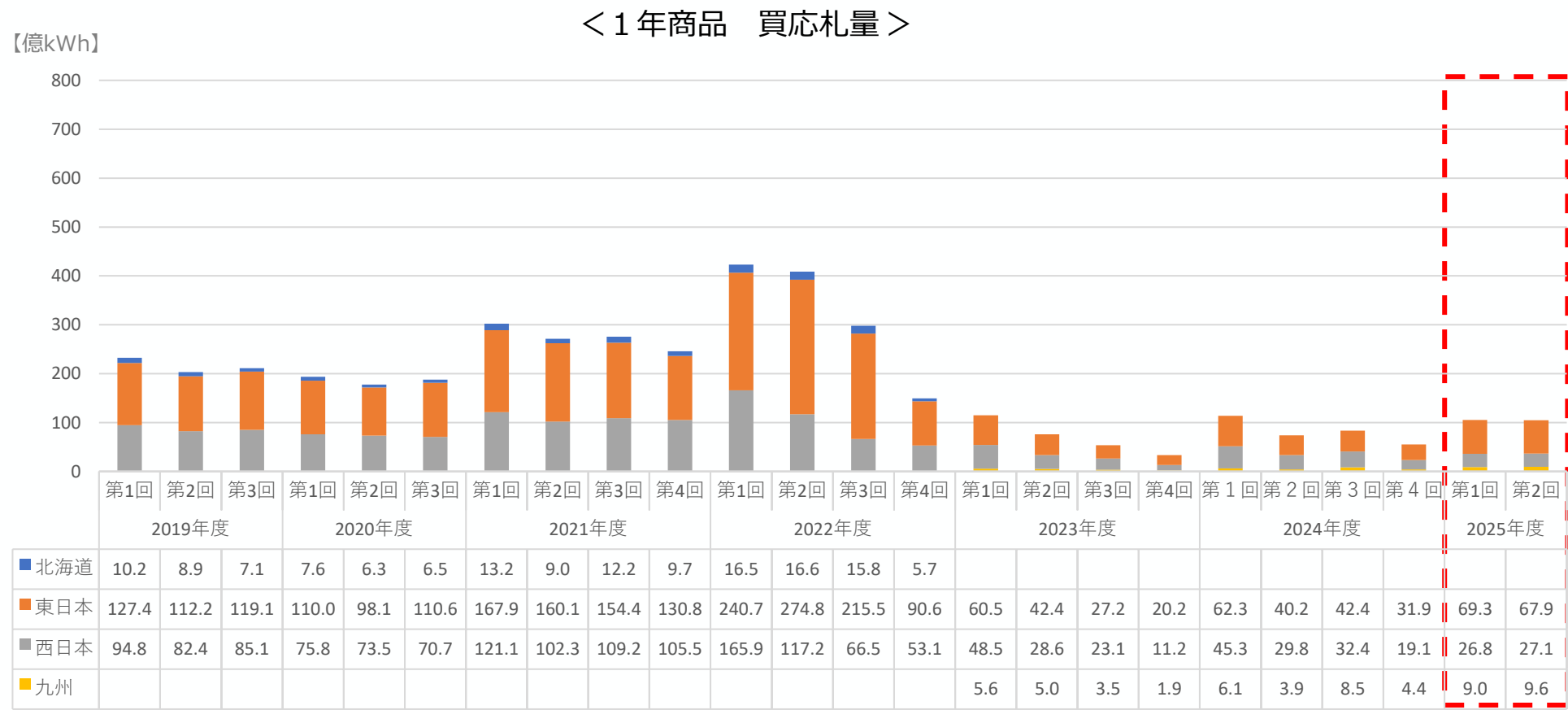
- 売応札量は、2025年度第1回オークションにおいて約406.2億kWh、第2回オークションにおいて約400.2億kWhとなり、それぞれ、2024年度第1回オークションの売応札量の約131.4%、2024年度第2回オークションの売応札量の約133.1%となった。
- 昨年同回よりも売応札量が増加した要因としては、新電力の売応札の増加や、制度的供出量の増加等が考えられる。



※ 表示単位未滿を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2025年度第1回、第2回オークションの買応札量（1年商品・固定価格取引）

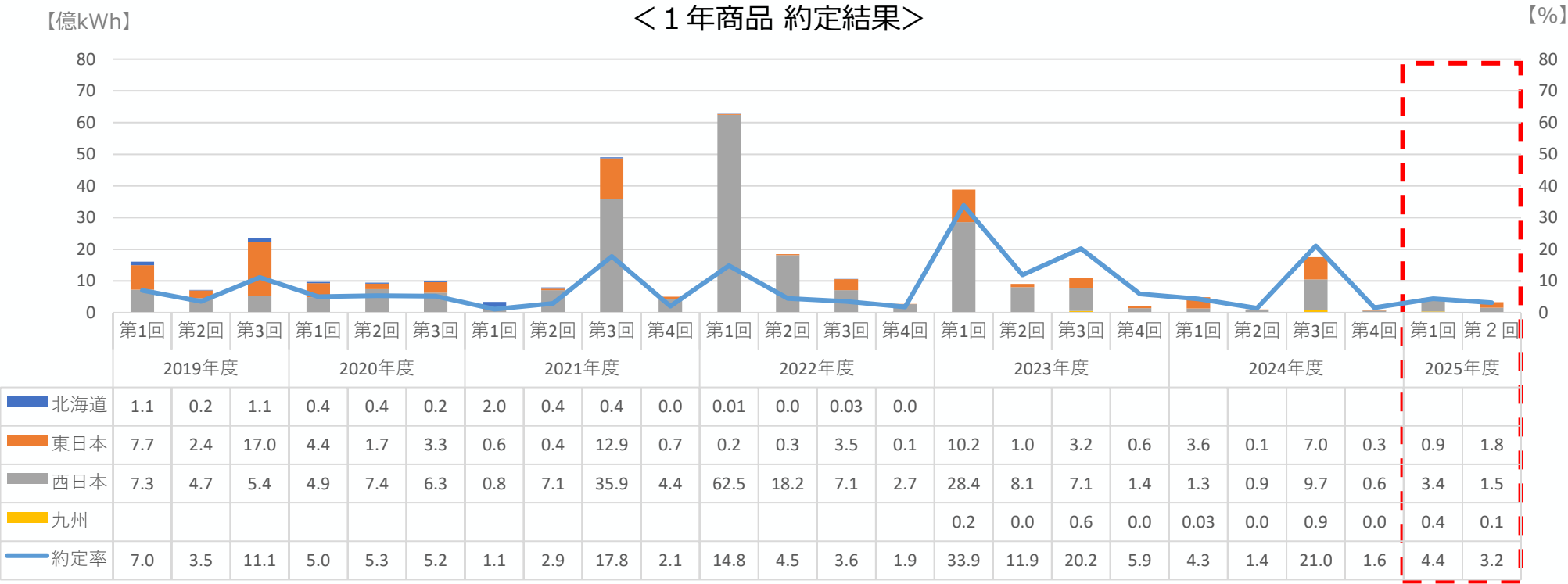
- 買応札量は、2025年度第1回オークションにおいて約105.1億kWh、第2回オークションにおいて約104.5億kWhとなり、第1回オークションについては、**2024年度第1回オークションの買応札量の約92.4%**と大きな変化は見られなかったが、第2回オークションについては、**2024年度第2回オークションの買応札量の約141.5%**となった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2025年度第1回、第2回オークションの約定結果（1年商品・固定価格取引）

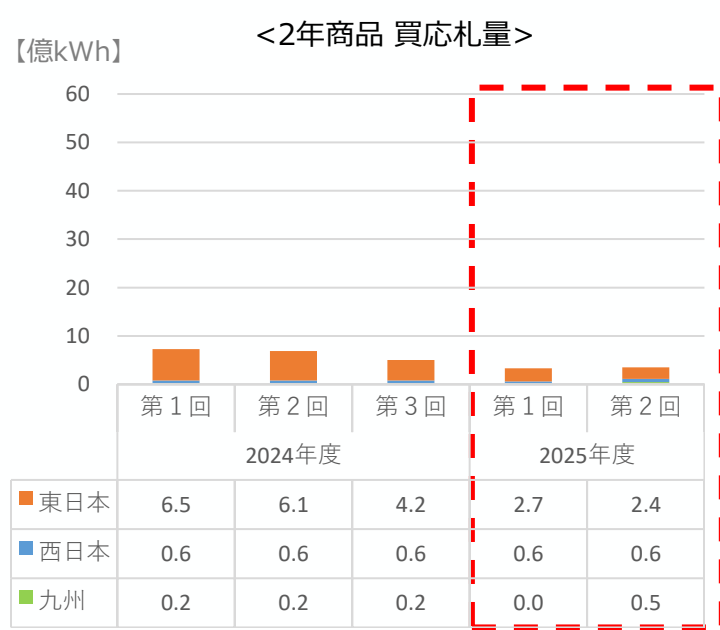
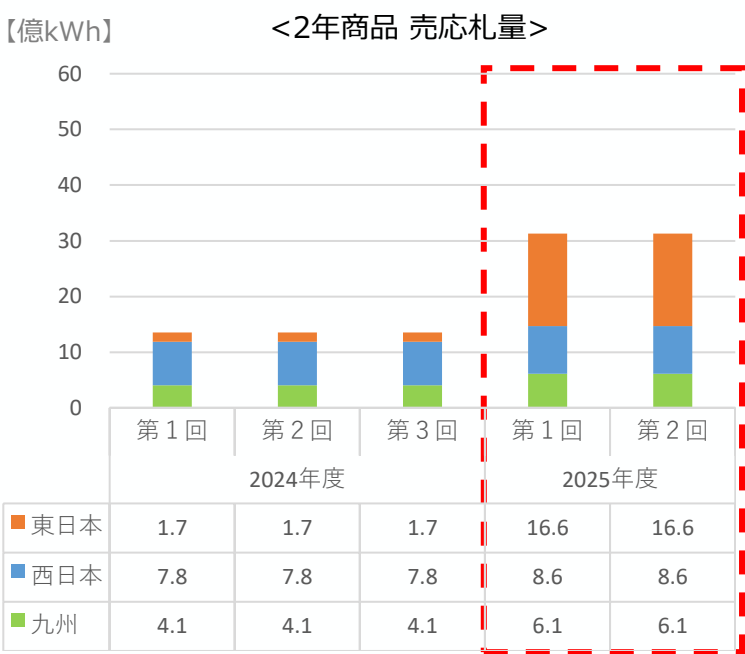
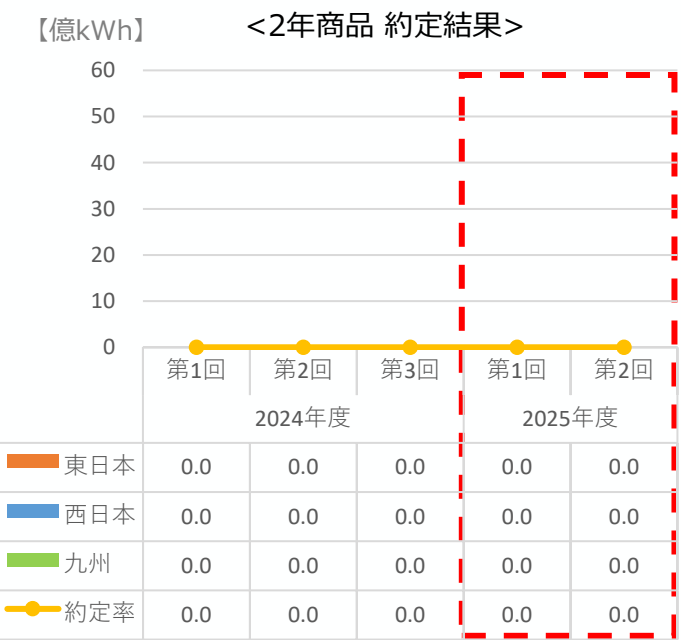
- 約定量は、2025年度第1回オークションにおいて約4.7億kWh、2025年度第2回オークションにおいて約3.3億kWhとなり、第1回オークションについては、**2024年度第1回オークションの約定量の約94.8%**と大きな変化はなかったが、第2回オークションについては、**2024年度第2回オークションの約定量の約314.0%**となった。
- 約定率（約定量/買応札量）については、2024年度第1回オークションの約定率が約4.3%、2024年度第2回オークションの約定率が約1.4%であったのに対し、**2025年度第1回オークションは約4.4%、2025年度第2回オークションは約3.2%**であり、第2回オークションにおいては伸びているものの、引き続き買手・売手の応札価格の目線にズレがある状況が明らかとなった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2025年度第1回、第2回オークションの約定結果（2年商品・事後調整付取引）

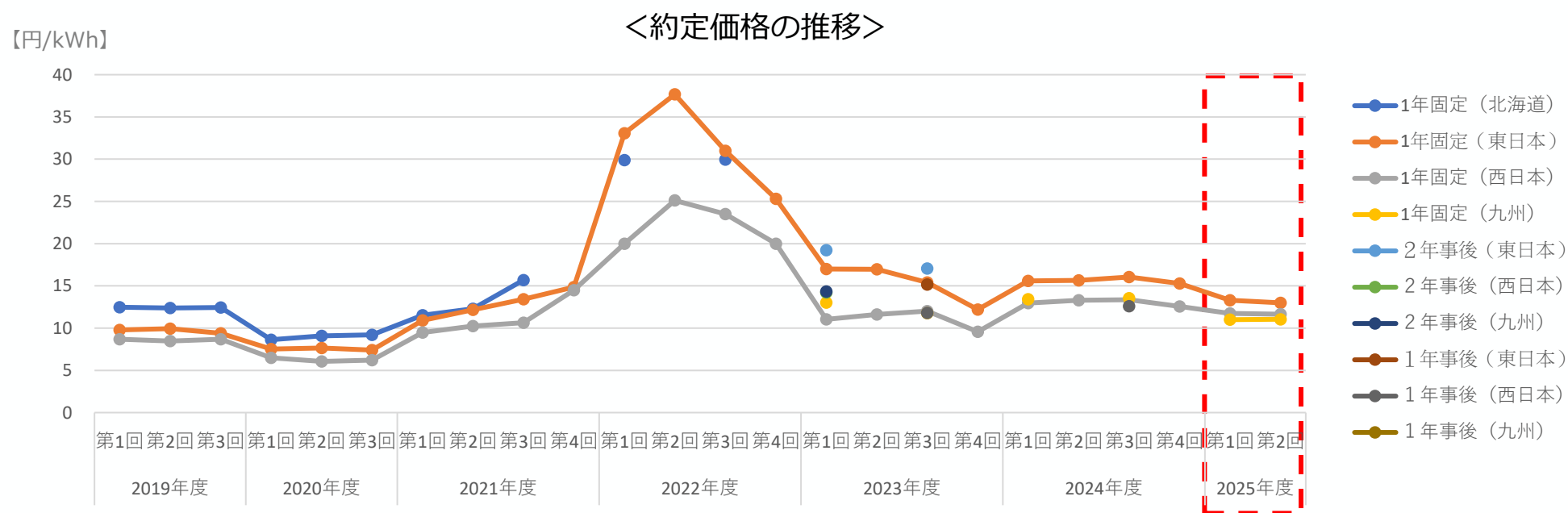
- 2025年度第1回、第2回オークションでは、2024年度のオークションに引き続き、全エリアにおいて2年商品の約定はなかった。
- 売応札量は、第1回オークション、第2回オークションともに約31.3億kWhとなり、いずれも2024年度第1回オークション、第2回オークションの売応札量の約231.3%となった。これは、制度的供出量の増加等が要因と考えられる。
- 一方、買応札量は、第1回オークションについては約3.3億kWh、第2回オークションについては約3.5億kWhとなり、それぞれ、2024年度第1回オークションの買応札量の約45.2%、2024年度第2回オークションの買応札量の約50.8%となった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

2025年度第1回、第2回オークションの約定結果（約定価格）

- 1年商品・固定価格取引の約定価格は、2025年度第1回オークションについては、東日本エリア13.30円/kWh、西日本エリア11.75円/kWh、九州エリア11.00円/kWh、2025年第2回オークションについては、東日本エリア13.00円/kWh、西日本エリア11.65円/kWh、九州エリア11.05円/kWhであり、
 - ✓ 第1回オークションについては、2024年度第1回オークションと比較し、東日本エリアは約0.85倍、西日本エリアは約0.91倍、九州エリアは約0.82倍
 - ✓ 第2回オークションについては、2024年度第2回オークションと比較し、東日本エリアは約0.83倍、西日本エリアは約0.88倍となった。（※2024年度第2回オークションにおいて九州エリアの約定はなかった。）



(参考) 2025年度第1回、第2回オークションにおける事後調整係数

- 事後調整付取引においては、買手のリスクを緩和する観点から、入札前に調整係数※1の公表をしている。
- 2025年度第1回、第2回オークションにおける事前公表値（加重平均）は、前年度に引き続き、九州エリアが他エリアと比較して低い結果となった。

<2025年度オークションにおける事後調整係数（2年商品）>

2025年度 第1回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本	0.37	0.33	0.35	—
西日本※2	—	—	0.31	—
九州※2	—	—	0.18	—

2025年度 第2回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本	0.37	0.33	0.35	—
西日本※2	—	—	0.31	—
九州※2	—	—	0.18	—

■ 供出上限価格と調整単価の算定に関する簡易イメージ（参考）

基準石炭価格(①)	50,000円/ton	1,000円/ton 増加(⑤)	+1,000円/ton	1,000円/ton 下落(⑥)	▲1,000円/ton
想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton
石炭燃料費(①×②)	500,000百万円	石炭燃料費増加(⑤×②)	+10,000百万円	石炭燃料費減少(⑥×②)	▲10,000百万円
修繕費	40,000百万円				
減価償却費	50,000百万円				
その他固定費	210,000百万円				
容量確保契約金額	▲100,000百万円				
合計(③)	700,000百万円				
BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh
供出上限価格(③/④)	14.00円/kWh		+0.20円/kWh		▲0.20円/kWh
調整単価 (平均石炭価格が1,000円/ton変動した場合の円/kWh当たりの変動額)	0.20円/kWh				

<参考：2024年度オークションにおける事後調整係数（2年商品）>

2024年度 第1回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.36	—
九州※2	—	—	0.19	—

2024年度 第2回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.33	—
九州※2	—	—	0.19	—

2024年度 第3回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.33	—
九州※2	—	—	0.19	—

※1 供出上限価格の算定の際に用いる諸元（燃料の想定消費数量、想定発電量等）に基づき算定される、石炭価格が1,000円/トン変動した場合の変動額（円/kWh）

※2 売手側の制度的供出者が2者以下のため、加重平均値のみ事前公表される

今後のスケジュール等について

- 2025年度オークションは、11月に第3回、1月に第4回が実施される予定。

<今後の取引スケジュール>

	受渡期間	取引価格	入札期間	取引実施日
第3回	1年	固定価格取引	2025年11月16~26日	11月26日
	1年	事後調整付取引	2025年11月18~28日	11月28日
	2年	事後調整付取引	2025年11月18~28日	11月29日
第4回	1年	固定価格取引	2026年 1月20~30日	1月30日

<各オークションにおいて取り扱う商品>

	第1回（8月）	第2回（10月）	第3回（11月）	第4回（1月）
1年商品 受渡し期間1年 (制度的供出量割合※1)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5%+α※3)	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 受渡し期間2年 (制度的供出量割合※2)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	—

※1 同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く
※3 第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量α

※2 前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く